



2008年5月期決算説明会

大証2部 6496



株式会社 中北製作所

<http://www.nakakita-s.co.jp>

2008年8月5日 大阪
2008年8月6日 東京



- ・ 会社概要
- ・ 2008年5月期実績
- ・ 2009年5月期見通し
- ・ 今後の展望
- ・ コーポレートデータ



. 会社概要

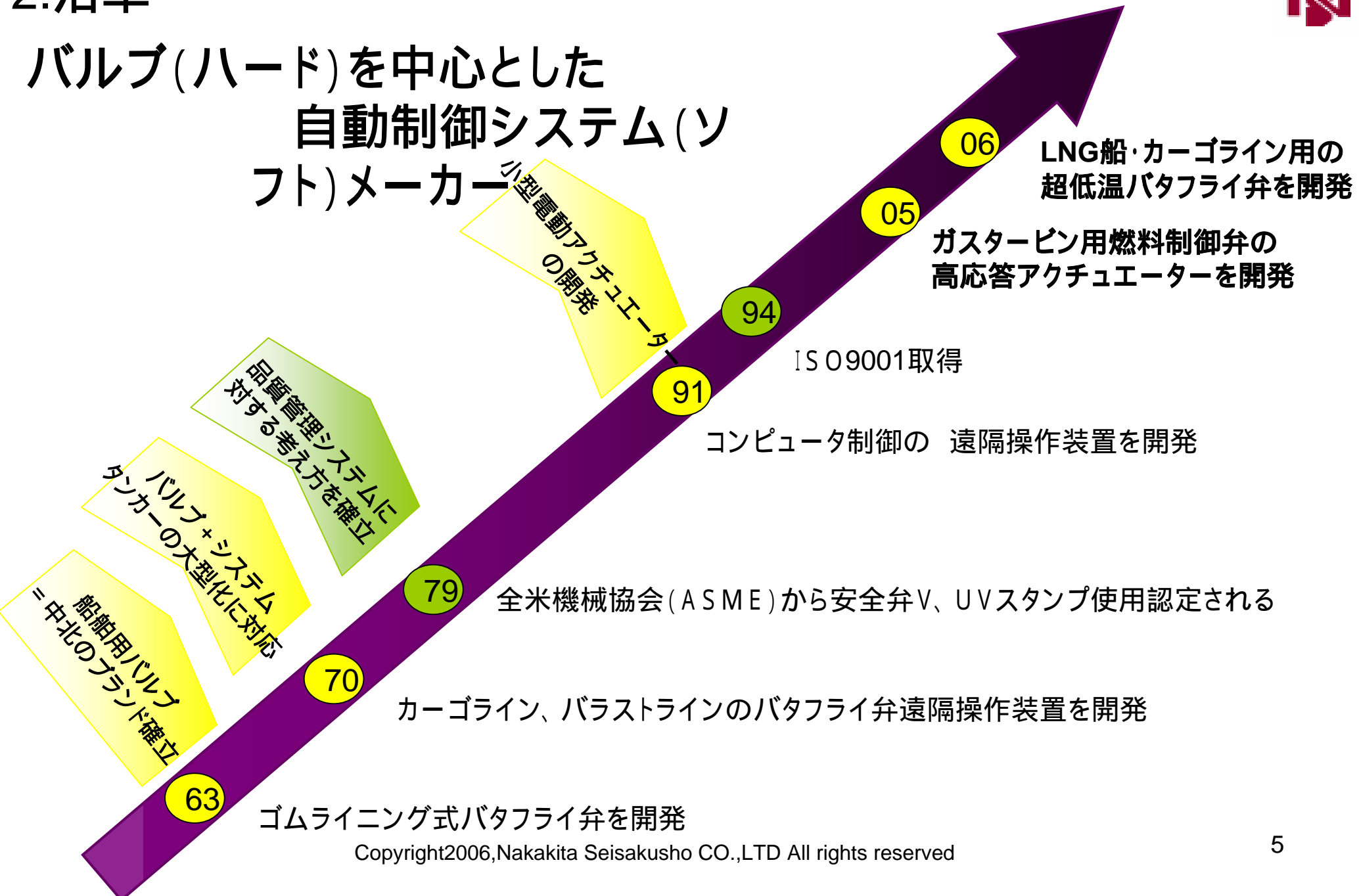
1.概要



会社名	株式会社中北製作所
代表者	中北 健一
所在地	大阪府大東市
設 立	1937年5月
資本金	1,150百万円
事業内容	自動調節弁・バタフライ弁・遠隔操作装置製造
従業員数	299名(2008年5月末現在)

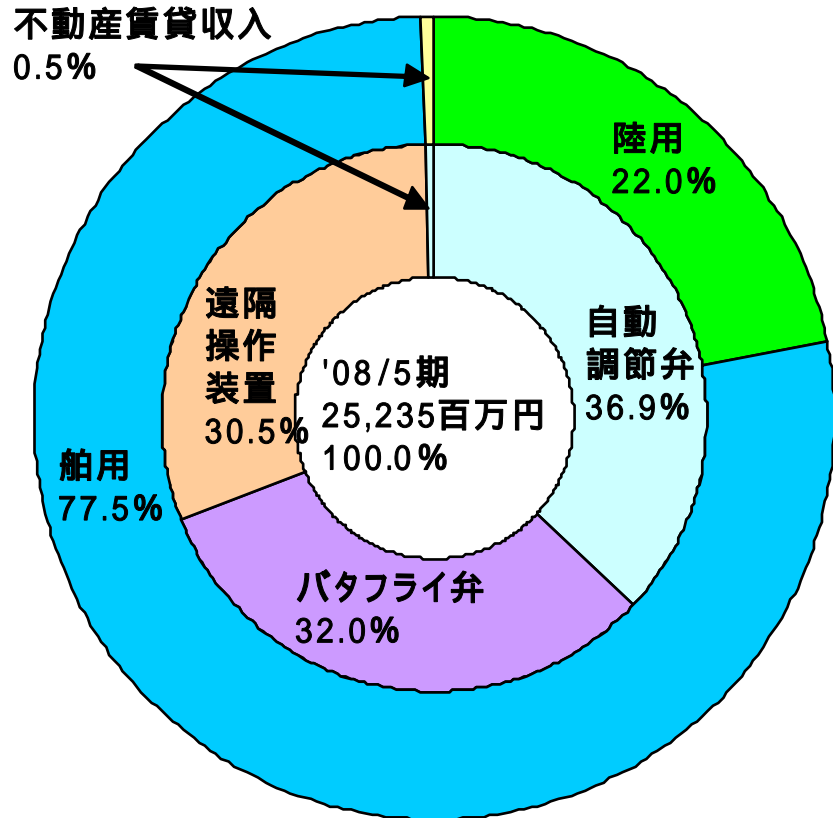
2.沿革

バルブ(ハード)を中心とした 自動制御システム(ソ フト)メーカー



3.事業内容

当社は船舶や原子力・火力発電等の陸上プラント向けに、バルブを中心とした流体の自動制御システムとして下記の品種を全品受注生産により供給している



品種別用途

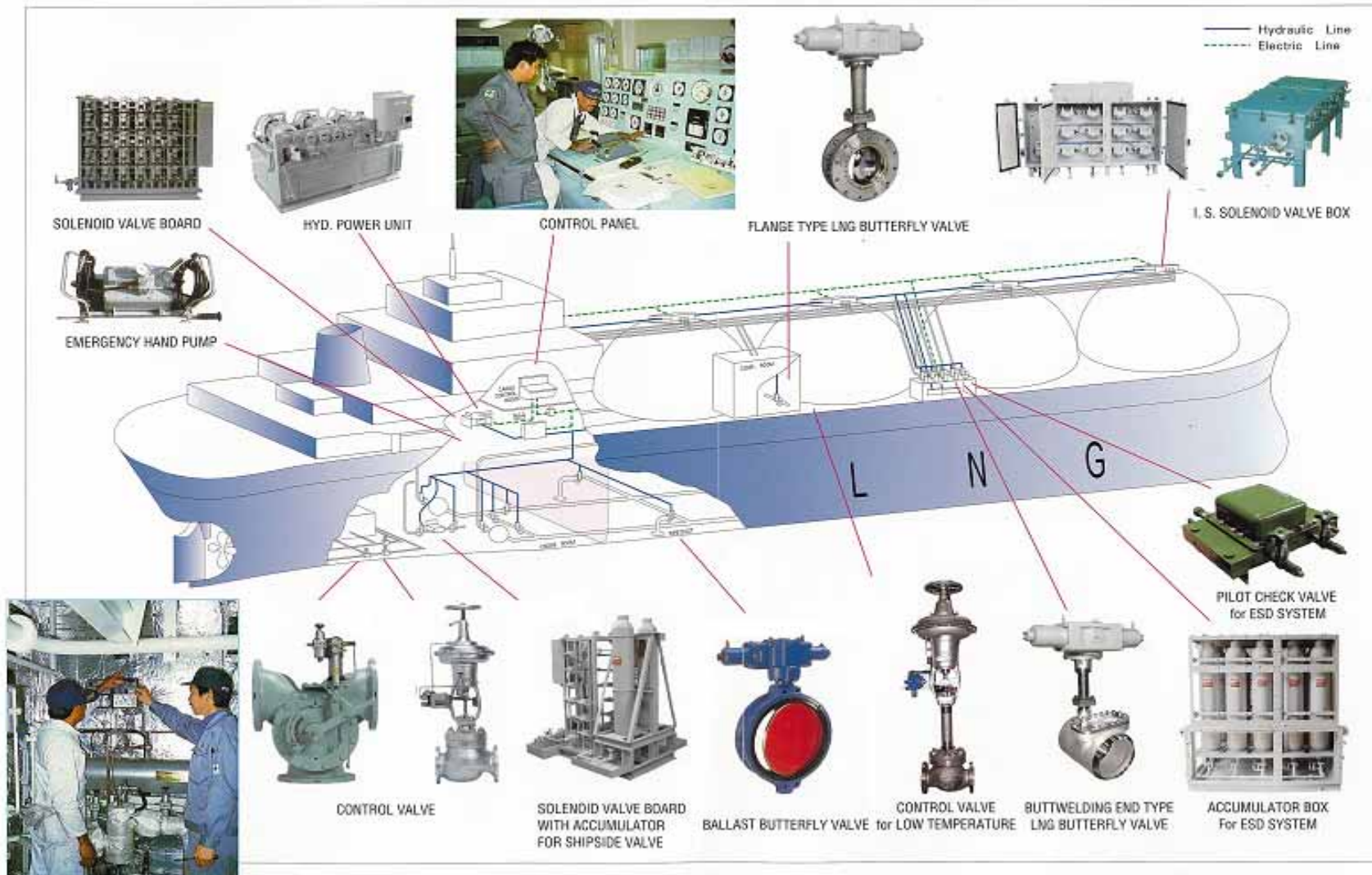
陸船別	用途		品種		
			自動調節弁	バタフライ弁	遠隔操作装置
船用	カーゴライン	タンカー			
	バラストライン	全船種			
	機関室	全船種			
陸用	発電プラント	火力発電 原子力発電 ガスタービン発電			
	製鉄プラント				
	造水プラント				
	その他				



4.製品

船用荷役及びバラスト遠隔操作(バタフライ弁・遠隔操作装置・液面計)

REMOTE CONTROL SYSTEM FOR LNG "CARRIER"





クリーンエネルギー = LNG(天然ガス)船用超低温バタフライ弁

5.製品



組立工場

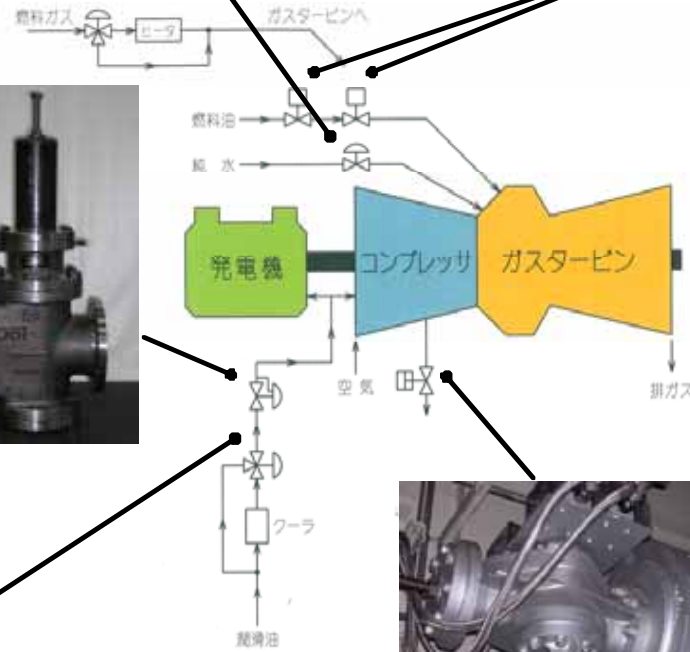


液体窒素(- 196)による試験

6.製品

ガスタービン用自動調節弁

燃料供給系統、
潤滑油供給系統、
その他に
自動調節弁を納
入している



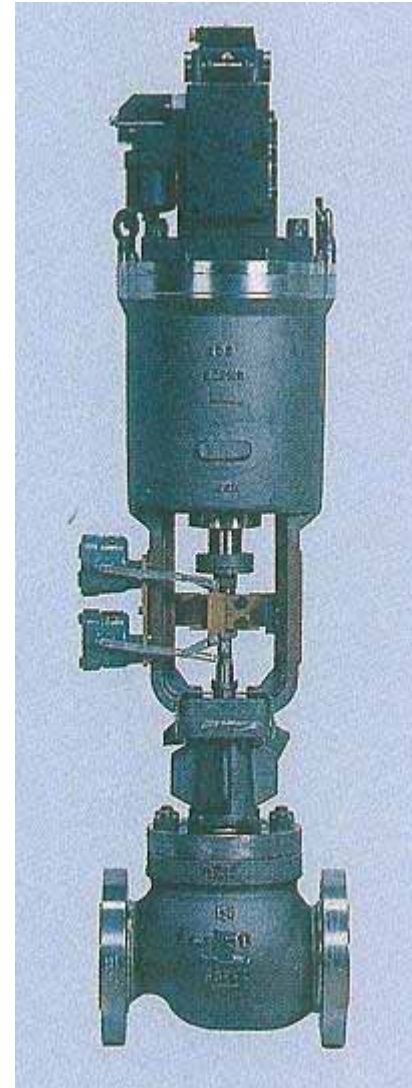
7.製品

ガスタービン燃料供給系統

燃料ガス温度調節弁



燃料流量調節弁及び圧力調節弁



8. 世界的な競合と差別化策

バタフライ弁、遠隔操作装置、機関室用調節弁を一括製造している唯一のメーカー
品質の信頼性ときめ細かなアフタサービス体制

質・量ともに客先の注文に応えうる生産体制

船主の細かい注文にも対応

	当社	アムリー	ダンフォス	キーストン	アモット
	日本	フランス	デンマーク/ 韓国	韓国	イギリス
遠隔操作装置					
バタフライ弁 (カーゴ/バラスト)					
自動調節弁					
LNGバタフライ弁					



. 2008年5月期実績



1. 概要

単位:百万円(百万円未満切捨)、%、円

	07/5	08/5	前年同期比		08/5 期初計画	08/5期初 計画比	
			増減	伸率		増減	伸率
売上高	21,897	25,235	3,338	15.2	23,000	2,235	9.7
営業利益	2,213	2,394	181	8.2	2,300	94	4.1
経常利益	2,248	2,424	176	7.8	2,300	124	5.4
当期純利益	1,288	1,262	26	2.0	1,330	68	5.1
一株当り利益	70.4	65.9		69.4			
一株当り配当金	30.0	30.0		25.0			
総資産	23,384	24,184					
株主資本	15,280	15,918					

船用中心に主力製品の売上が好調。陸用も堅調な状況が続く。

材料費高騰の影響等もあり利益率は悪化したが、売上増加でカバーし営業利益で前年、期初計画を共に上回った。

有価証券評価損の影響で当期純利益は前年、期初計画を共に下回った。

2. 生産・受注・受注残の推移

生産 単位:百万円、%

	07/05	08/05	前年同期比	
			増減	伸率
			自動調節弁	8,896
バタフライ弁	6,492	8,048	1,556	24.0
遠隔操作装置	6,284	7,659	1,375	21.9
生産高合計	21,672	24,980	3,308	15.3

受注高

	07/05	08/05	前年同期比	
			増減	伸率
			自動調節弁	9,404
バタフライ弁	10,921	10,012	909	8.3
遠隔操作装置	8,627	9,473	846	9.8
受注高合計	28,952	29,497	545	1.9

受注残

	07/05	08/05	前年同期比	
			増減	伸率
			自動調節弁	5,445
バタフライ弁	9,569	11,495	1,926	20.1
遠隔操作装置	8,074	9,838	1,764	21.8
受注残合計	23,088	27,474	4,386	19.0

生産(前年同期比15.3%増)

船用、特にタンカー向けの増加を受けてバタフライ弁の生産が大幅拡大。

受注高(同1.9%増)

生産能力を勘案し、バタフライ弁については受注を抑制気味としたが、全体としては前年を上回った。

受注残(同19.0%増)

前期に引続く高水準の受注高を反映し、受注残高が大幅に増加。



3.部門別売上高

単位:百万円、%

	07/5	08/5			
			増減	伸率	構成比
自動調節弁	8,927	9,316	389	4.4	36.9
バタフライ弁	6,532	8,086	1,554	23.8	32.0
遠隔操作装置	6,314	7,709	1,395	22.1	30.5
不動産賃貸収入	124	124	0	0.1	0.5
売上高・営業収益	21,897	25,235	3,338	15.2	100.0

単位:百万円、%

	07/05	構成比				
			08/05	増減	伸率	構成比
陸用	4,955	22.6	5,554	599	12.1	22.0
船用	16,819	76.8	19,557	2,738	16.3	77.5
その他	124	0.6	124	0	0.1	0.5
合計	21,897	100.0	25,235	3,338	15.2	100.0



4. 地域別売上高

単位：百万円、%

(含商社経由)	07/5	08/5			
			増減	伸率	構成比
国内	16,341	18,414	2,073	12.7	73.0
韓国	3,123	3,717	594	19.0	14.7
中国(香港)	2,222	2,793	571	25.7	11.1
その他	211	311	100	47.4	1.2
合計	21,897	25,235	3,338	15.2	100.0
輸出比率	25.4	27.0			

中・韓のタンカー建造増加による輸出の拡大が続く。特に中国向けの増加が著しい。



5. 損益計算書

単位: 百万円、%

	07/5		08/5			
		構成比		増減	伸率	構成比
売上高	21,897	100.0	25,235	3,338	15.2	100.0
売上原価	17,883	81.7	20,802	2,920	16.3	82.4
売上総利益	4,015	18.3	4,433	418	10.4	17.6
販売費・一般管理費	1,801	8.2	2,039	238	13.2	8.1
営業利益	2,213	10.1	2,394	181	8.2	9.5
営業外損益	35	0.2	30	5	-	0.1
経常利益	2,248	10.3	2,424	176	7.8	9.6
特別損益	0	0.0	229	229	-	0.9
税引前当期純利益	2,248	10.3	2,195	53	2.4	8.7
法人税等	960	4.4	933	27	2.8	3.7
当期純利益	1,288	5.9	1,262	26	2.0	5.0

設備投資関係費用の増加220百万円、材料費の高騰等の影響で原価率が上昇し、営業利益率が低下したが、売上の増加により、営業利益は181百万円の増益。

有価証券評価損229百万円の影響で、当期純利益は26百万円の減益。

6. 貸借対照表

単位:百万円

	07/5	08/5	増減	主要増減要因
流動資産合計	17,590	17,996	406	
現金・預金	4,260	2,611	1,650	売上債権増加
売上債権	9,440	11,023	1,583	売上増加
棚卸資産	3,060	3,447	387	
その他	830	916	86	
固定資産合計	5,794	6,189	395	
有形固定資産	3,227	3,377	150	
無形固定資産	15	279	264	
投資・その他の資産	2,552	2,532	20	
資産合計	23,384	24,184	800	
流動負債合計	6,869	7,456	587	
支払手形・買掛金	3,496	4,378	882	
短期借入金	1,870	1,870	0	
その他	1,503	1,207	296	
固定負債合計	850	678	172	
負債合計	7,719	8,134	415	
資本合計	15,665	16,051	386	
負債・資産合計	23,384	24,184	800	



. 2009年5月期通期見通し



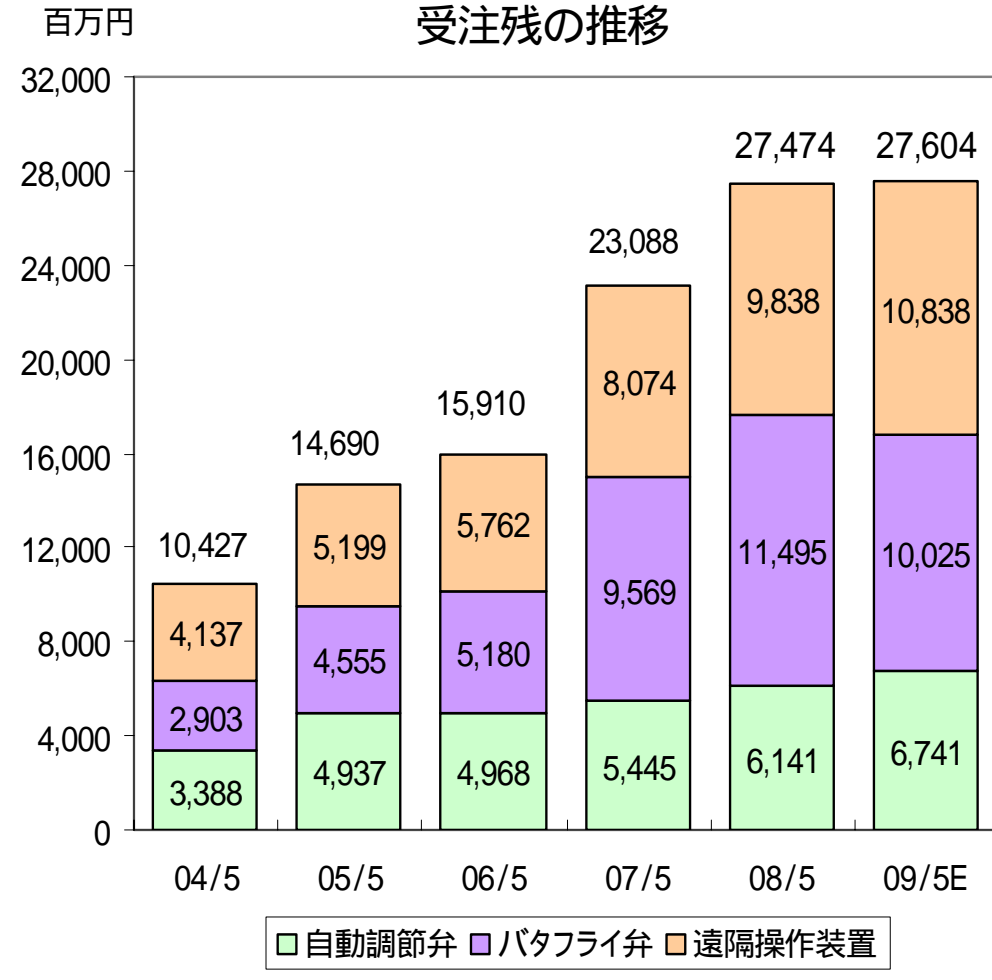
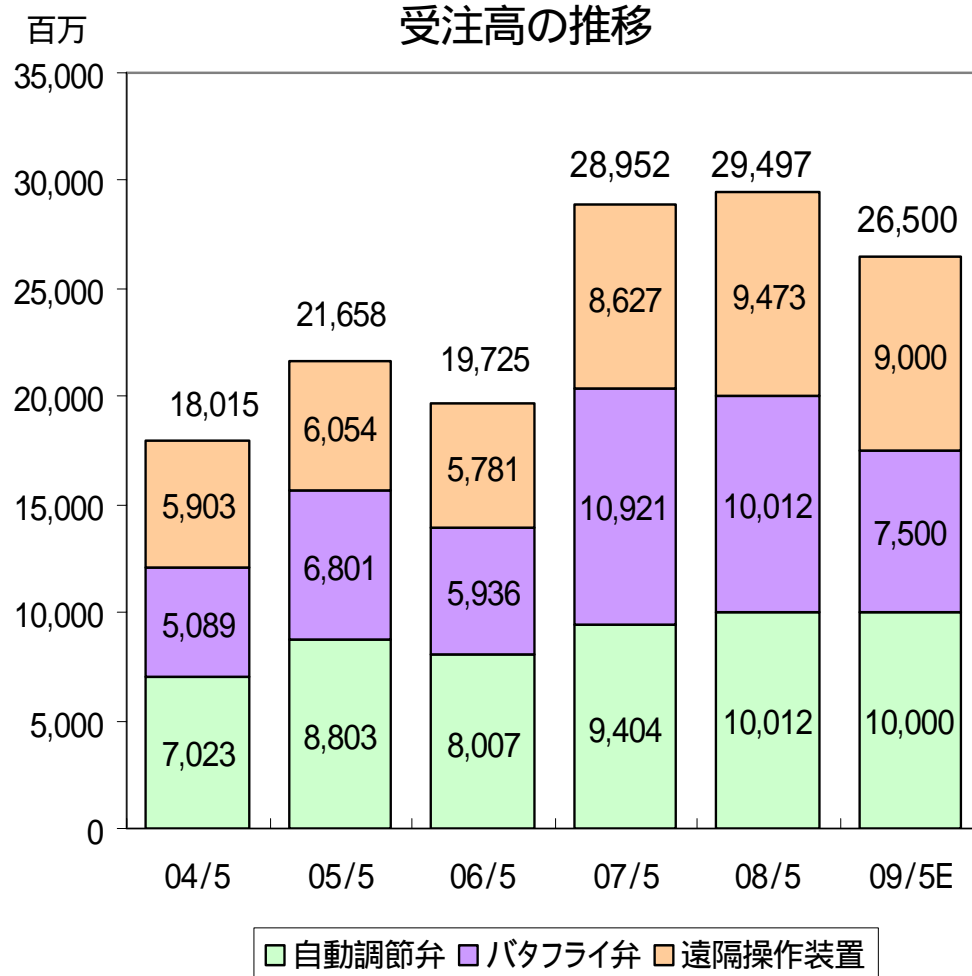
1. 概要

単位：百万円（百万円未満切捨）、%、円

	08/5	構成比	09/5E	前年同期比		構成比
				増減	伸率	
売上高	25,235	100.0	26,500	1,265	5.0	100.0
営業利益	2,394	9.5	2,220	174	7.3	8.4
経常利益	2,424	9.6	2,250	174	7.2	8.5
当期純利益	1,262	5.0	1,300	38	3.0	4.9
一株当り利益	65.9		67.8			
一株当り配当金	30.0		30.0			
設備投資	790		1,380			
減価償却費	354		465			

堅調な需要を予想するも、増産体制の状況を考慮し、売上は5%程度の増収予想。
 設備投資関係費用の増加と材料費・諸経費高騰を考慮し営業減益予想。
 当期純利益では、今期は特損を想定せず増益予想。

2. 受注・受注残の見通し



タンカー向け中心に需要は引き続き旺盛であるが、生産能力との兼ね合いでバタフライ弁については抑制方針。

それでも3品種合計では、期末受注残高は期初程度の水準を確保の見込み。



3. 損益計算書

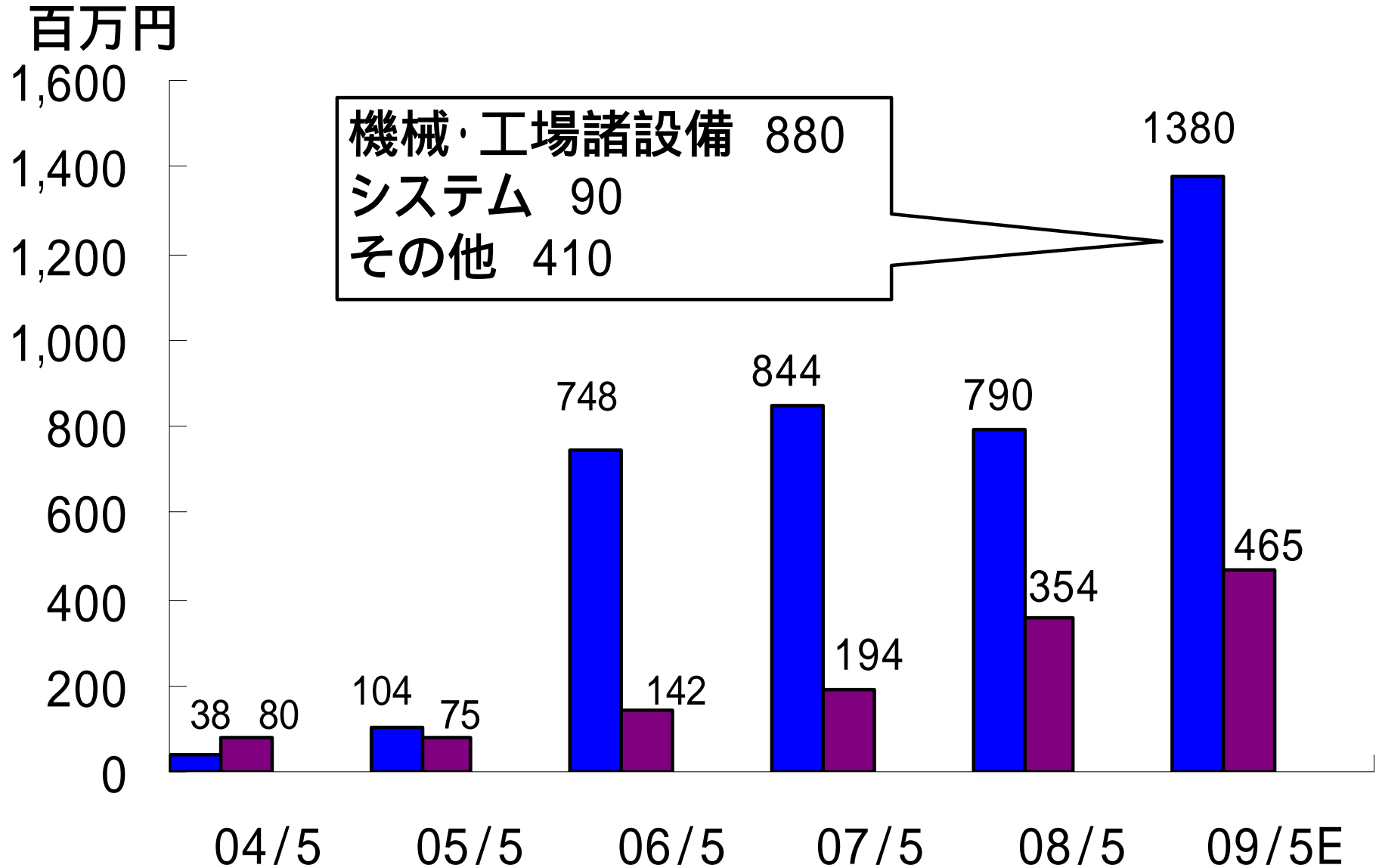
単位: 百万円、%

	08/5		09/5E			
		構成比		増減	伸率	構成比
売上高	25,235	100.0	26,500	1,265	5	100.0
売上原価	20,802	82.4	22,080	1,278	6	83.3
売上総利益	4,433	17.6	4,420	13	0	16.7
販売費・一般管理費	2,039	8.1	2,200	161	8	8.3
営業利益	2,394	9.5	2,220	174	7	8.4
営業外損益	30	0.1	30	0	0	0.1
経常利益	2,424	9.6	2,250	174	7	8.5
特別損益	229	1	0	229	0	0.0
税引前当期純利益	2,195	8.7	2,250	55	2.5	8.5
法人税等	933	4	950	17	1.9	4
当期純利益	1,262	5.0	1,300	38	3.0	4.9

原価率上昇算定的前提条件: 減価償却と修繕費の増加70百万円 労務費の増加20百万円 残り、(材料費値上がり - 値戻し)

販管比率上昇算定的前提条件: 運賃の値上がり60百万円

4. 設備投資と減価償却費の見通し





. 今後の展望

1. '09/5期の経営課題と戦略

08/5期の経営トピックス

設備更新による生産性向上

(1) 自動調節弁工場の拡張・整備

(2) 検査機器等の更新

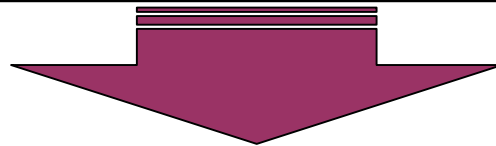
新生産管理システム(新NAPS)の運用開始

(1) 9月に組織変更により運用体制を整備

(2) 5月運用開始

セキュリティシステムの強化

内部統制強化

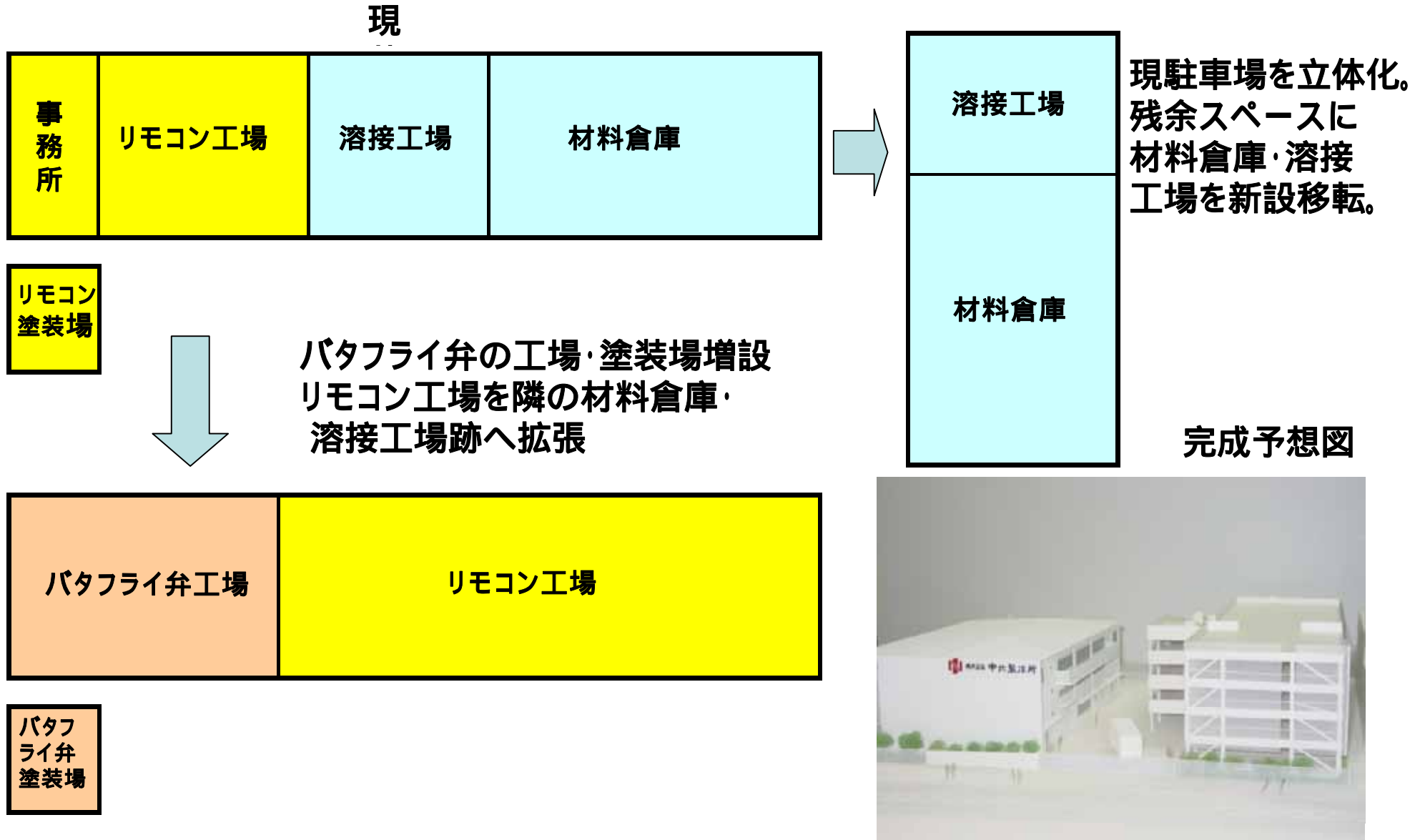


09/5期のテーマ

・・・生産効率改善(新NAPSの運用を軌道に乗せる)

・・・設備増強(リモコン・バタフライ弁工場の拡張)

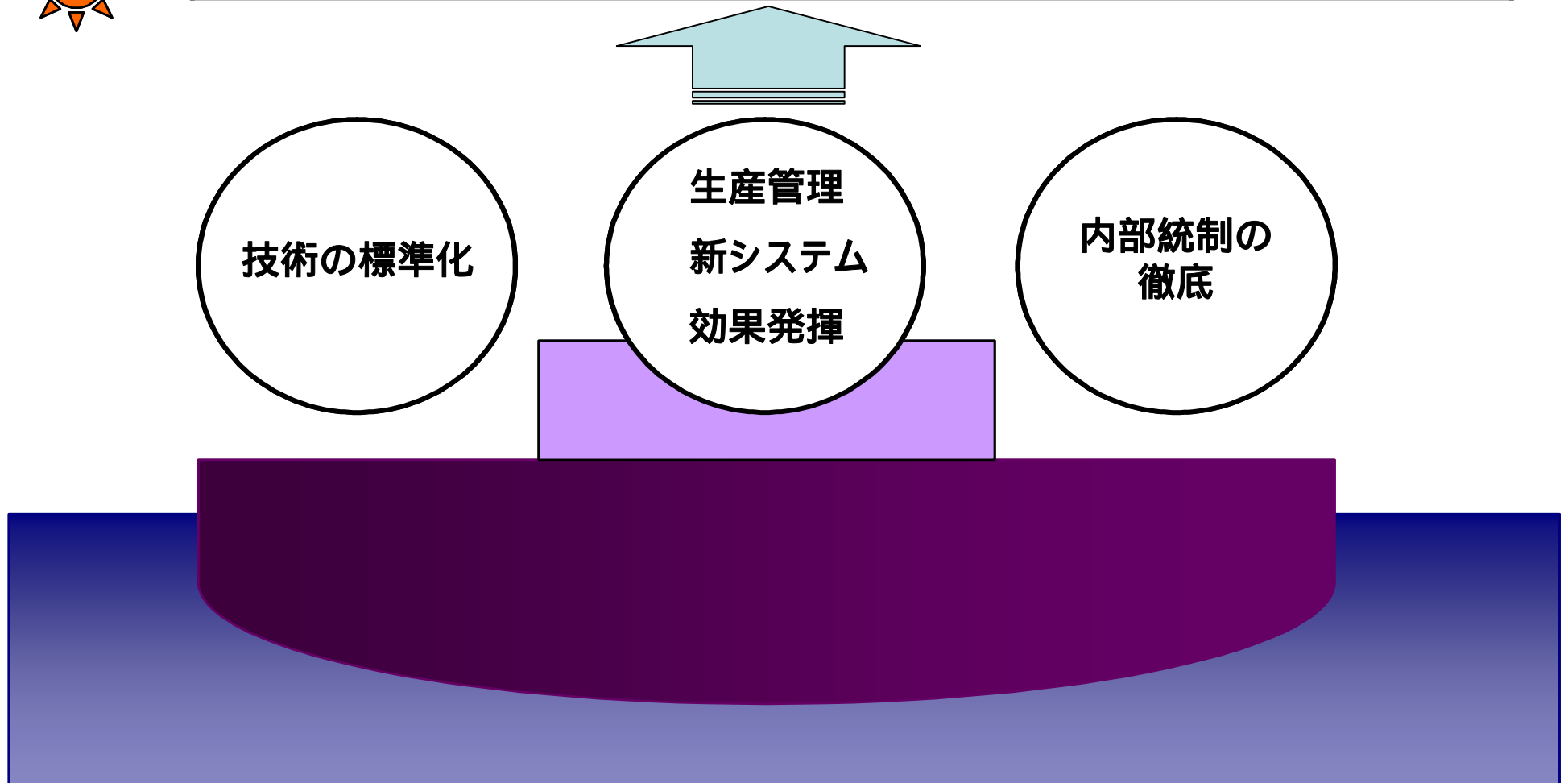
2. 設備投資(工場レイアウト変更と工場棟新設)



3. 課題への取り組み

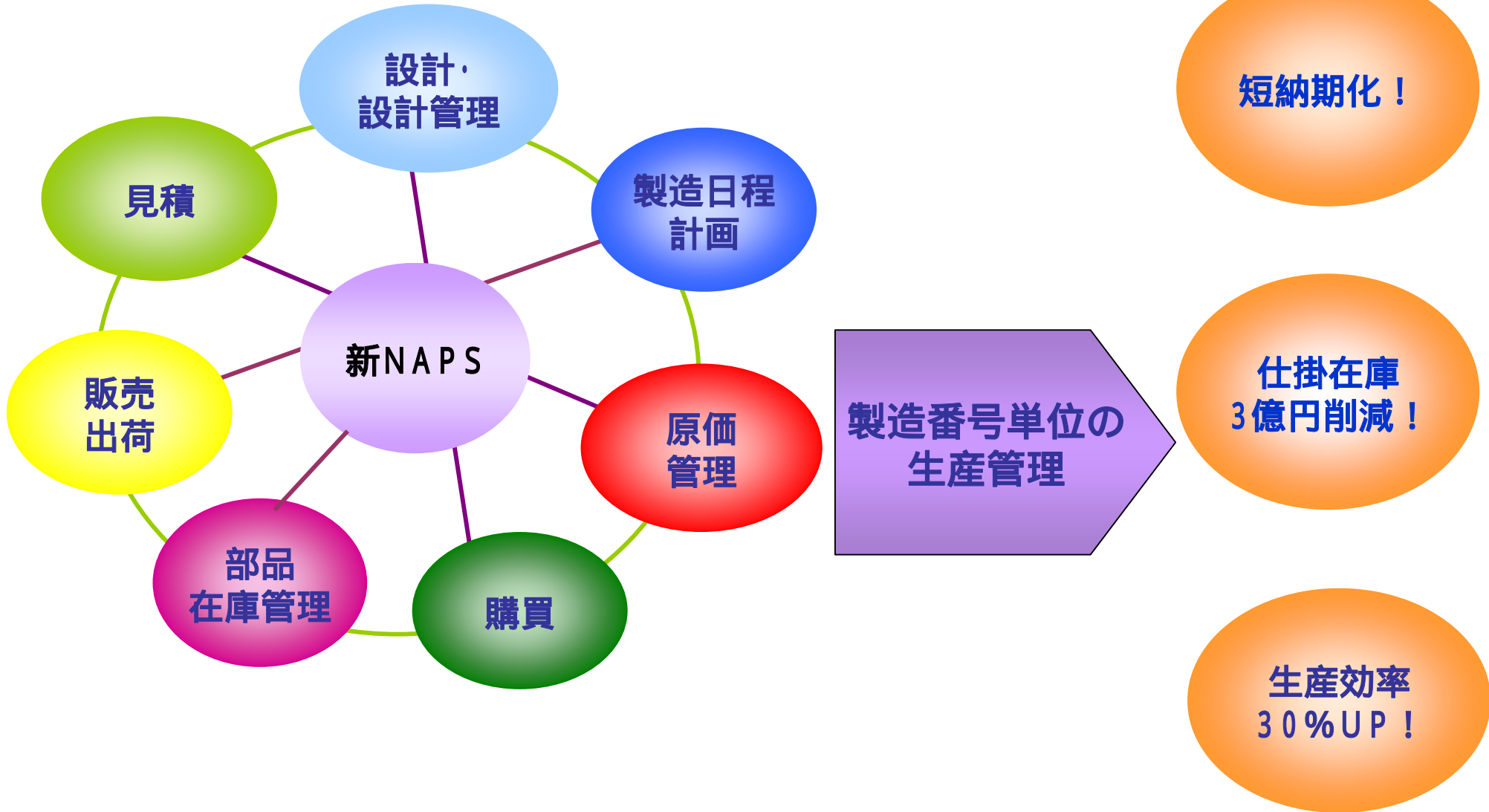


大幅な受注残の増加に対応した生産効率化と
信頼される高品質なもの作りを目指す！





4.生産管理新システム(新NAPS)の概要



5.中長期的な経営戦略～(1)

船舶向け需要動向に即した生産・販売体制の整備

タンカー建造の増加を背景として、バタフライ弁および遠隔操作装置(リモコン)の需要が増加しており、増産体制を整備し売上げ拡大を図る。

LNG船用超低温バタフライ弁を07/12月に納入を開始済みで、09/10月までに合計6隻分を納入予定。

エネルギーのLNG化を背景として2013年頃からLNG船の増加が予想されるが、上記6隻の実績を武器として、受注拡大を図る。

中国での船舶建造量が急拡大しており、シェアの維持・拡大のため、与信管理強化のうえ、中国向け営業力を強化。

陸上向け需要動向に即した生産・販売体制の整備

コンバインドサイクル発電プラントの建設増加を背景にガスタービンの需要が増加しており、ガスタービン向け大型高温高圧バルブの生産設備を整備したので、更に受注拡大を図る。

ガスタービン用燃料供給弁の高応答アクチュエータを開発済み。社内性能テスト完了。08/8月型式検定取得予定。08/9月より6ヶ月間テストプラントにて実証試験実施後、順調に行けば、09/9月からバルブとの一体販売の受注開始予定。

同アクチュエータの周辺機器(パワーユニット、アキュムレーターユニット)を開発し、バルブとの一体販売を図る。

5.中長期的な経営戦略～(2)

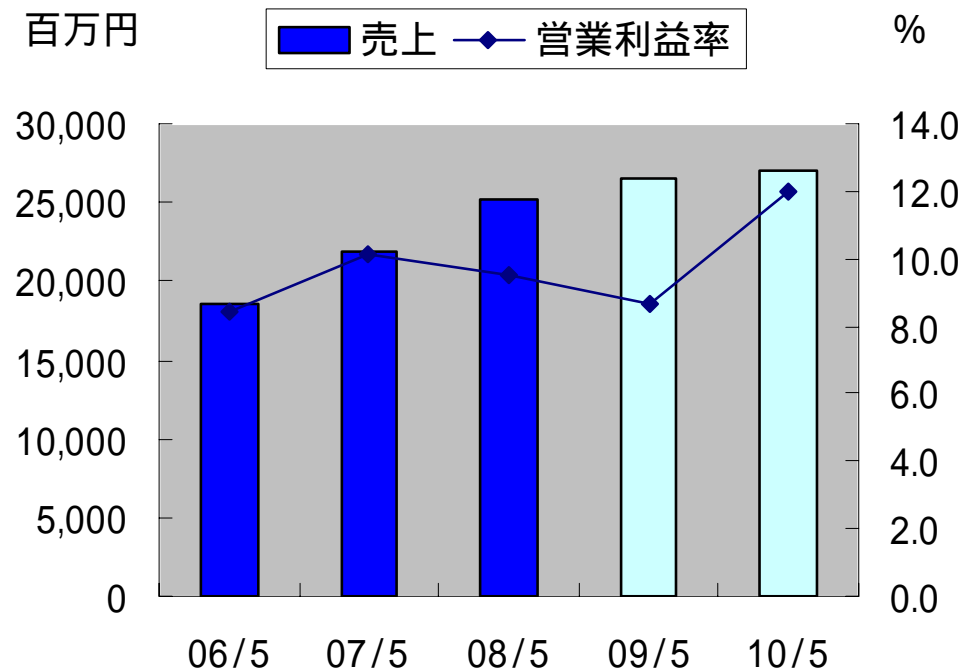
生産効率の改善

新NAPSをフル活用し、生産効率の改善による増産と利益率のアップを図る。

目標とする経営指標の達成

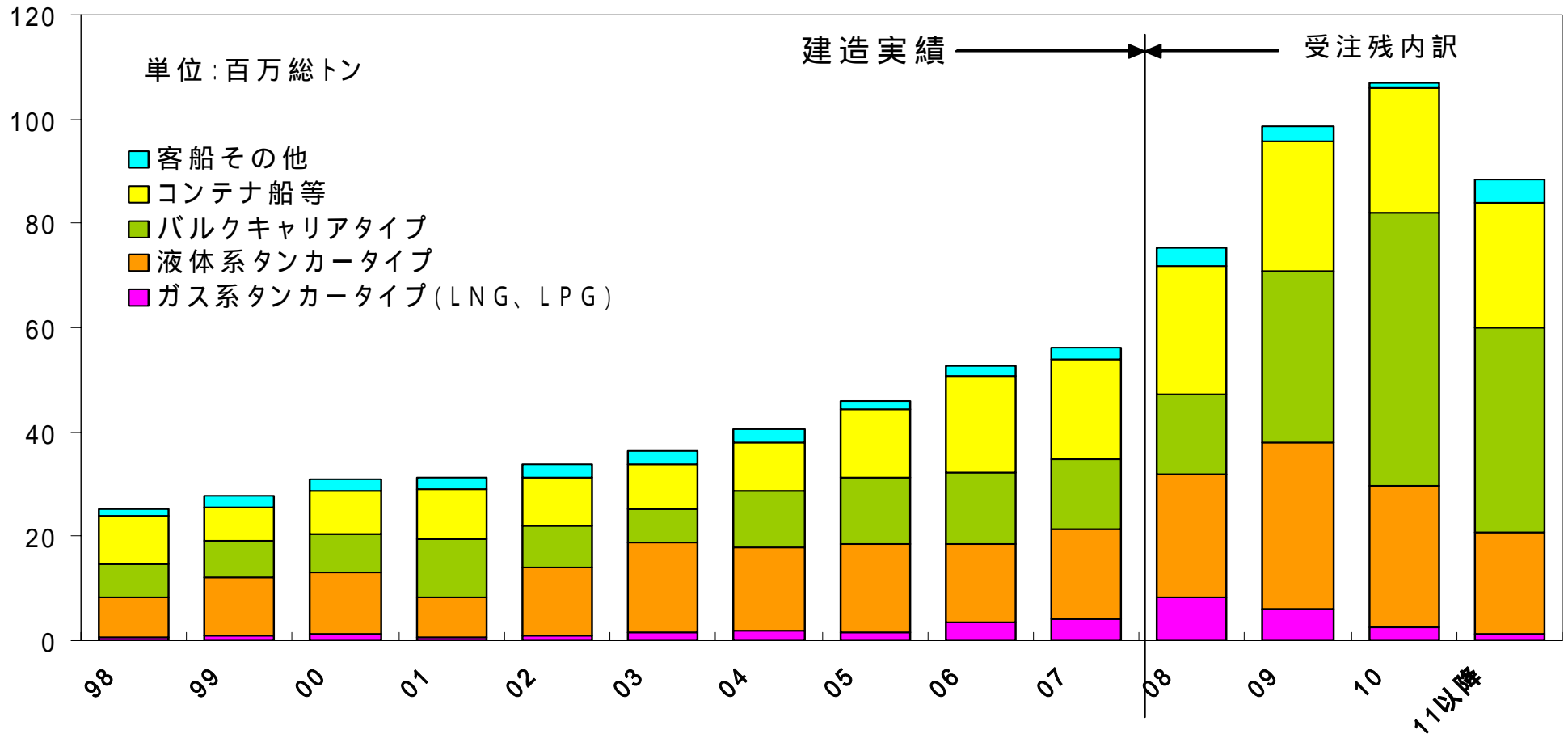
製造原価率の低減を重視、中期目標として営業利益率12%を目差す。

原材料の値上がりによる受注採算の悪化が予想され、厳しい環境にあるが、目標は当面維持。



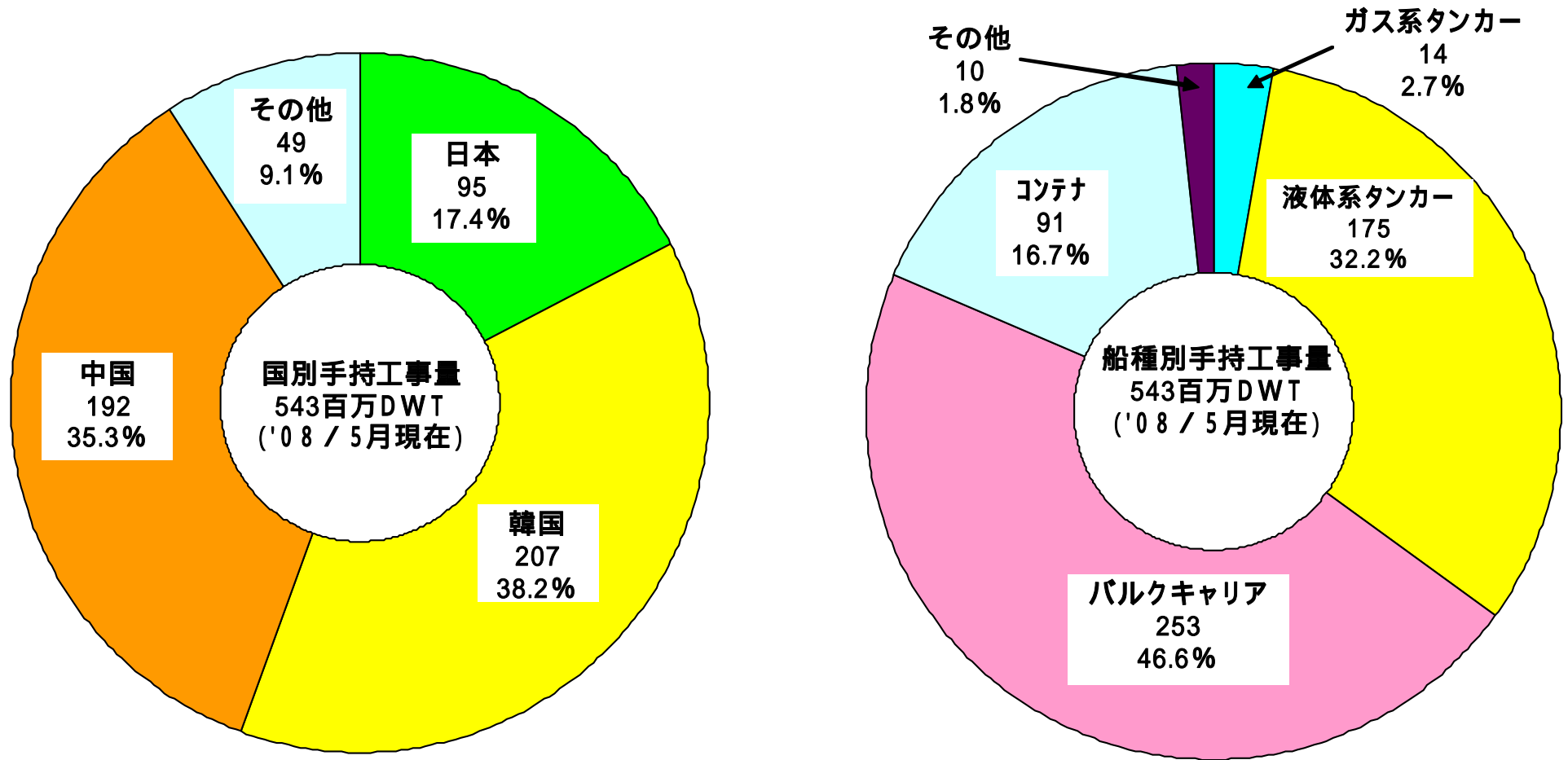


6. 船用分野市場動向～納期別・船種別手持工事量(08年5月現在)



**世界の納期別造船実績及び予想は2010年納期まで増加傾向にある。
タンカーについては2009年納期がピークであるが2010年も高水準維持。**

7. 船用分野市場動向 ~ 国別船種別手持工事量



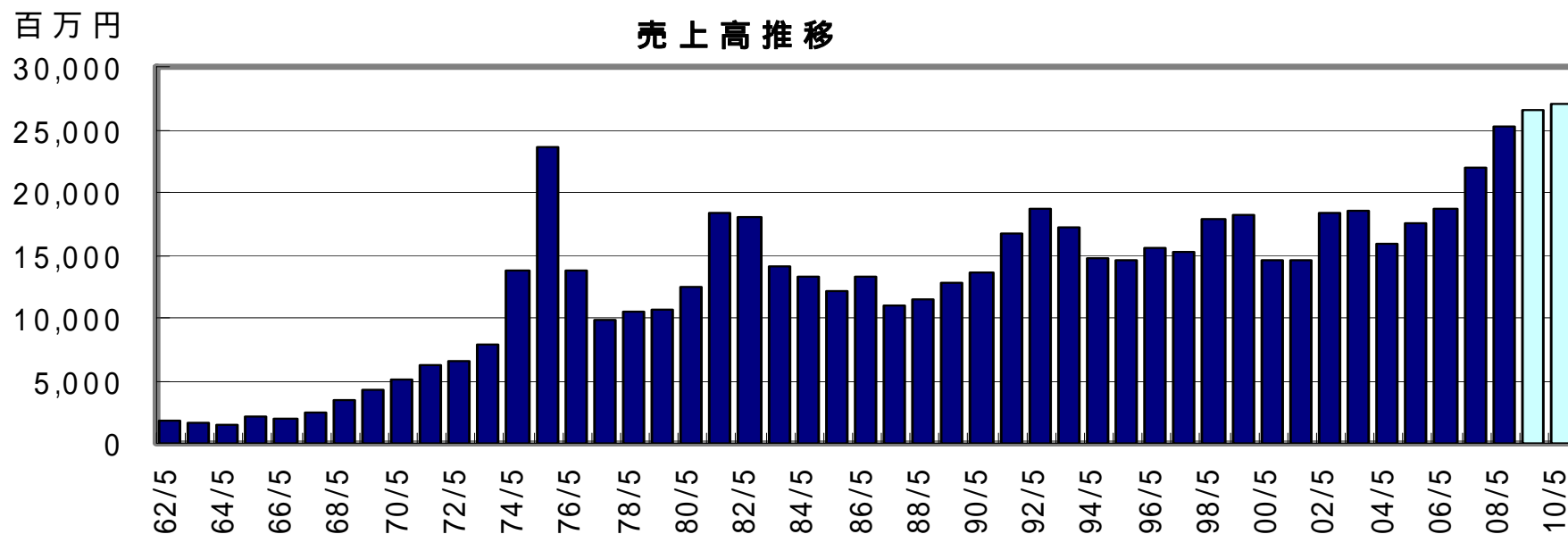
中国の造船が急拡大しているので、相手先の信用力を見極めながら、中国市場の営業を強化していく方針。



8. まとめ

造船業界の活況により2010年5月期まで売上の伸長が見込まれる。その後造船量はピークアウトが予想されるが、長期的には新たに投入したLNG船用超低温バタフライ弁やガスタービン用高応答アクチュエータにより落ち込みをカバー。

材料費の高騰が収益圧迫要因となるが、新NAPS(生産管理システム)稼動による生産の効率化及び在庫管理・収益管理の適正化を推進し、収益力、コスト競争力を強化！





. コーポレート・データ



単位:百万円、%、円

	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5	09/5E
売上高	15,838	17,518	18,629	21,897	25,235	26,500
営業利益	1,126	1,658	1,568	2,213	2,394	2,200
営業利益率	7.1	9.5	8.4	10.1	9.5	8.3
経常利益	1,127	1,651	1,589	2,248	2,424	2,250
経常利益率	7.1	9.4	8.5	10.3	9.6	8.5
当期利益	575	916	927	1,288	1,262	1,300
当期利益率	3.6	5.2	5.0	5.9	5.0	4.9
総資産	19,211	20,101	20,199	23,384	24,184	
株主資本	12,356	12,967	13,161	15,280	15,918	
株主資本比率	64.3	64.5	65.2	65.3	65.8	
株主資本利益率	4.7	7.1	7.0	8.4	7.9	
1株当たり利益	28.6	47.6	51.1	70.4	65.9	67.8
1株当たり配当金	14.0	25.0	25.0	30.0	30.0	30.0



陸船別売上	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5	09/5E
陸用売上	3,296	3,808	4,609	4,955	5,554	5,700
船用売上	12,401	13,587	13,896	16,819	19,557	20,670
その他	140	124	124	124	124	130
合計	15,838	17,518	18,629	21,897	25,235	26,500

品種別売上	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5	09/5E
自動調節弁	6,185	7,253	7,976	8,927	9,316	9,400
バタフライ弁	4,835	5,149	5,311	6,532	8,086	8,970
遠隔操作装置	4,678	4,992	5,219	6,314	7,709	8,000
その他	140	124	124	124	124	130
合計	15,838	17,518	18,629	21,897	25,235	26,500

生産	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5	09/5E
自動調節弁	6,193	7,317	8,011	8,896	9,273	9,400
バタフライ弁	4,844	5,189	5,339	6,492	8,048	8,970
遠隔操作装置	4,683	5,039	5,254	6,284	7,659	8,000
合計	15,721	17,545	18,604	21,672	24,980	26,370

受注	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5	09/5E
自動調節弁	7,023	8,803	8,007	9,404	10,012	10,000
バタフライ弁	5,089	6,801	5,936	10,921	10,012	7,500
遠隔操作装置	5,903	6,054	5,781	8,627	9,473	9,000
合計	18,015	21,658	19,725	28,952	29,497	26,500

受注残	04/5	05/5	06/5	07/5	08/5	09/5E
自動調節弁	3,388	4,937	4,968	5,445	6,141	6,741
バタフライ弁	2,903	4,555	5,180	9,569	11,495	10,025
遠隔操作装置	4,137	5,199	5,762	8,074	9,838	10,838
合計	10,427	14,690	15,910	23,088	27,474	27,604